

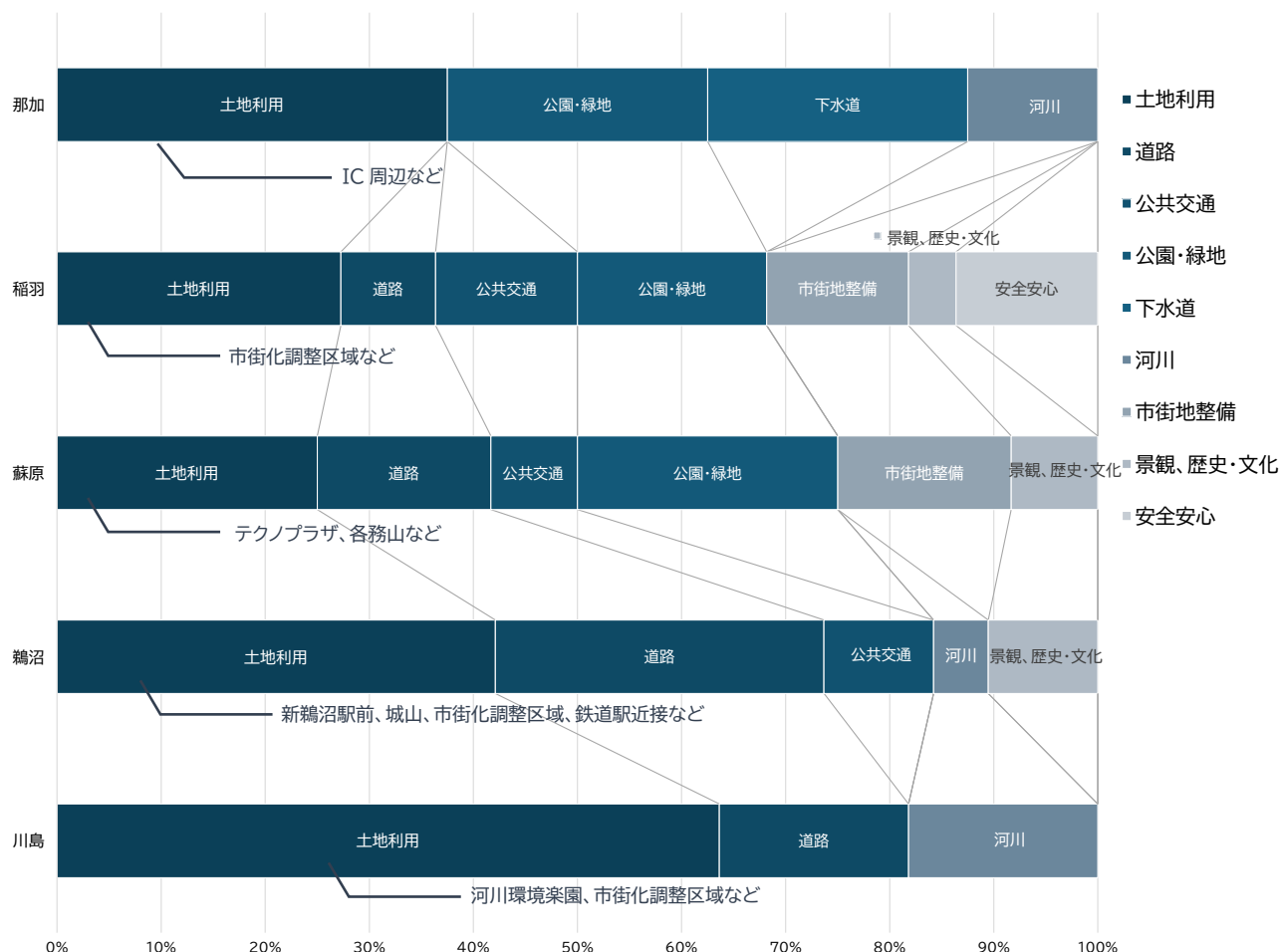
●開催概要

		那加	稲羽	蘇原	鵜沼	川島
第1回	これまでのまちづくりについて、気になったこと・改善した方がよいこと					
	日 時	7月18日	7月15日	7月25日	7月23日	7月30日
	参加者数	8名	16名	16名	23名	5名
第2回	地区別構想（案）について					
	日 時	9月26日	9月16日	9月18日	9月25日	9月30日
	参加者数	11名	18名	12名	20名	5名

現行計画の評価等を踏まえ検討した都市づくりの全体構想を受け、地区別に取り組む方針等を検討するために地域にお住まいの方との地区別懇談会を開催した。

地区ごとに出てくる意見の内容は様々であり、意見の傾向を地区別構想の体系ごとにまとめると次のとおりとなった。

●意見内容の傾向



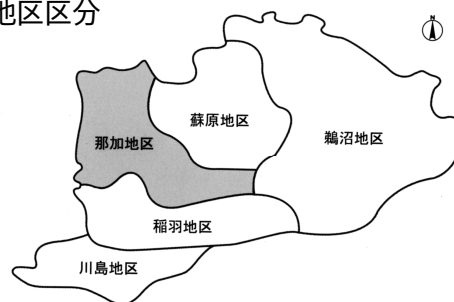
地区別懇談会の実施報告 -那加地区-

●概要

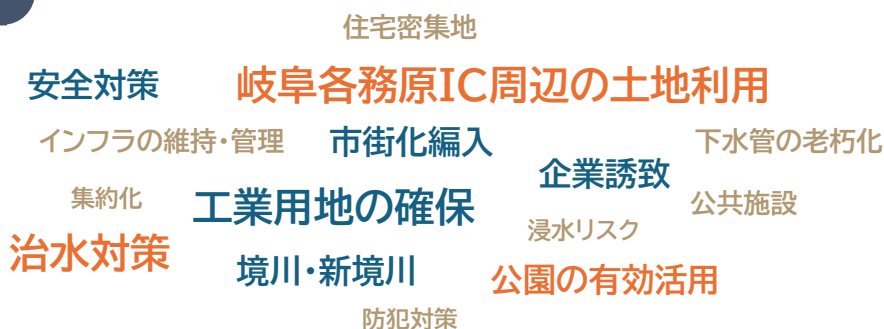
那加地区は、本市において各種官公庁、教育施設、商業施設、各務原市民公園や学びの森等が集積する中心地域としての役割を果たしている地区である。

地区別懇談会では、岐阜各務原 IC 周辺の土地利用、河川の治水対策、公園の維持管理・有効活用、その他下水管の更新に関するご意見を主にいただいた。

地区区分



キーワード



●主な意見の反映

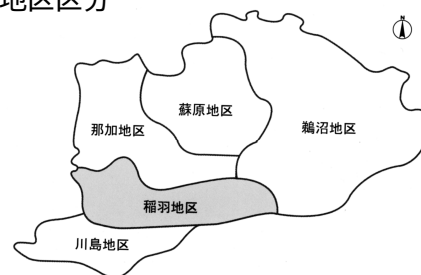
市民の意見		分野	方針
1	他市との競争がある中で、工業用地の確保は喫緊の課題ではないか	土地利用 主要課題地区	【2】インターチェンジ周辺地区 東海北陸自動車道の交通利便性を活かし、既存の大規模集客施設、工業団地の維持・強化の他、新たな産業用地の形成を図る 土地利用の誘導にあたっては、重点風景地区「岐阜各務原IC周辺地区」として、既存の商業用地、工業用地と調和した市街地景観の形成を図る
2	岐阜各務原インターチェンジ周辺の土地利用を進めてほしい		
3	下水管の老朽化が進行しているため、下水管の更新を行ってほしい	下水道	経年劣化により老朽化した施設について、適切な維持管理を実施するとともに、長寿命化計画に基づく更生工法等による延命化や、地震対策計画に基づく耐震化を図る
4	境川の合流構造を見直し、水が流れやすい構造とするなど、抜本的な治水対策を講じてほしい	河川	境川の総合的な治水対策事業を推進し、流域内における保水・遊水機能の維持を図る
5	これまで公園や桜並木などの整備が進められているが、適切な維持管理や有効活用を図ってほしい	公園緑地	自然環境が有する多様な機能をまちづくりに活用していき、各務原市民公園や学びの森等既存都市公園の機能充実と緑の保全・創出を推進する

●概要

稲羽地区は、古くから形成された集落地と農地によって構成され、大部分の地域が市街化調整区域の地区である。

地区別懇談会では、日常生活に必要な機能の立地誘導、既存コミュニティの維持・活性化、サイクリングロード、狭あい道路の安全対策、公共交通に関するご意見を主にいただいた。

地区区分



キーワード

KakamigaharaわたしのPARK

サイクリングロード

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

都市計画法第34条第11号

岐阜各務原IC周辺の土地利用

既存集落の維持・活性化

区域拡充

下水整備

浸水リスク

太陽光発電

通学の安全性

市街化調整区域

日常の買い物に困っている

チョイソコ

狭あい道路

生活利便性

公共交通

●主な意見の反映

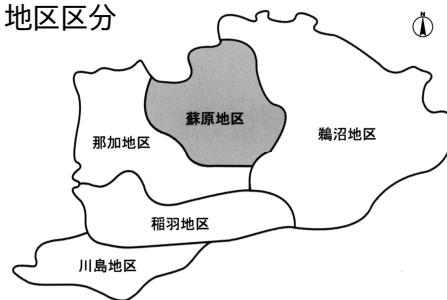
市民の意見		分野	方針
1	スーパーなどの日常的に地域住民が利用する店舗等が不足しており、利便性が低い	方針	(省略) 日常生活に必要な機能の立地誘導による生活利便性の確保や既存コミュニティの維持・活性化を図ることを目標とする
2	既存集落・コミュニティを維持するため、市街化調整区域の土地利用の可能性を検討してほしい	土地利用 市街化調整区域	既存コミュニティの維持・活性化に向けた施策として、浸水リスクを考慮しつつ開発行為の許可の基準に関する条例による開発及び建築行為の弾力化を検討
3	サイクリングロード、KakamigaharaわたしのPARKでは、人を呼び込む活用をしてほしい	土地利用 主要課題地区	【4】国営木曽三川公園各務原緑地 (省略) 木曽川中流域の魅力向上を目指し、木曽川を基軸とした広域サイクリングネットワークの構築や賑わいのある拠点形成を図る
4	地域内交通の手段としてチョイソコかかみがはらのサービス拡充など対策をしてほしい	公共交通	(省略) 必要に応じて運行内容(経路・ダイヤ)の見直しを行い、利便性の向上を図る
5	安全対策のため通学路などの狭い道路の拡幅整備を行ってほしい	安全安心	(交通安全) 狭あい道路の解消やそれにあわせたブロック塀の除去の支援等に努める

●概要

蘇原地区は、航空機産業が集積する川崎町地区、テクノプラザ地区、新たな産業拠点である本市の中心部に位置する各務山地区等の産業基盤が存在するとともに、幹線道路沿線の商業系土地利用が進んでいる地区である。

地区別懇談会では、産業・工業用地の確保、地域の公園整備、歴史資源の保全、子育て支援に関するご意見を主にいただいた。

地区区分



キーワード

城跡や古墳

地域の公園整備

働く場・工業用地の確保

既存産業の振興・新産業の創出

農地や緑地との調和

子育てしやすいまち

安全確保 道路整備

幹線道路沿いの土地利用

自転車道整備

歴史遺産を守る

鉄道の利便性

桜並木

●主な意見の反映

反映

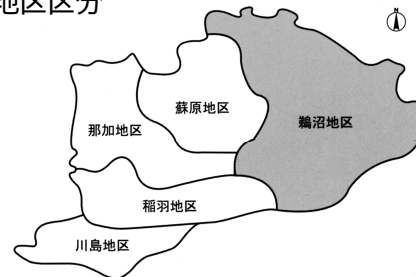
市民の意見		分野	方針
1	幹線道路沿いの市街化調整区域の土地利用方針を示してほしい	方針	(省略) 幹線道路沿線の商業機能の充実により生活利便性の向上を図ることを目標とする
2	産業・工業用地の確保行い、企業誘致をした方が良くはないか	土地利用 主要課題地区	【1】 テクノプラザ地区 今後も引き続き、産官学の連携拠点としての機能の充実を図る 【2】 各務山地区 本市中心部の広大な面積を持つ地区であるため、緑地の保全や緑化を図りつつ、テックフォルテ各務山の現有機能の維持・強化を図るとともに、各務山地区基本構想に基づき、工業用地の拡充を検討
3	街区単位の公園を整備してほしい	公園 緑地	●長寿命化計画に基づく公園施設の計画的な更新 ●地域ニーズに応じた公園施設の充実
4	歴史資源を保全する土地利用を検討してほしい	景観 歴史文化	●良好な自然景観や歴史・文化的資源を保全する ●地域の特色を活かした景観形成を図る
5	子育て支援が重要視されている中で「子育てしやすいまち」を掲げるべき	理念・目標	※都市づくりの理念・目標 「居住環境の整った便利で暮らしやすい」に含む

●概要

鵜沼地区は、中山道鵜沼宿をはじめ、国指定重要有形民俗文化財の村国座、城山等の歴史・文化資源や芋ヶ瀬池、伊木山等の自然資源を有するとともに、東の拠点となる地区である。

地区別懇談会では、新鵜沼駅周辺の活用、市街化調整区域の土地利用や都市計画道路等の幹線・補助幹線道路の整備、景観の規制等に関するご意見を主にいただいた。

地区区分



キーワード

観光交流

景観保全

地域の発展を阻害

新鵜沼駅周辺の活用

高さ制限

コンパクトシティ

南北の幹線道路

犬山東町線パイパス

分家住宅

駐車場

城山

交通渋滞

市街化調整区域の土地利用

新愛岐大橋

眺望ライン

企業誘致

歴史資源

●主な意見の反映

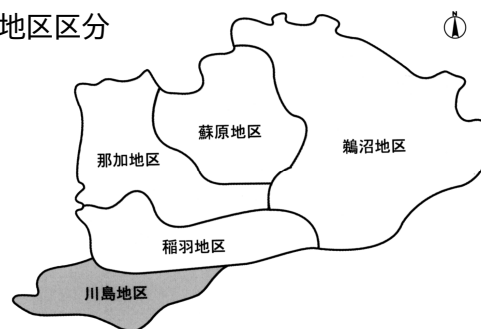
市民の意見		分野	方針
1	各務山、新総合体育館の整備と様々な動きがあるが、今後の見通しを示してほしい	土地利用 主要課題地区	【6】各務山地区 残された緑地との調和を図りつつ、本市の中心部に位置し、広大な面積を持つ地区であるため、テックフォルテ各務原の現有機能の維持・強化に努め、各務山地区基本構想に基づき、工業用地の拡充を検討
2	コンパクトシティと拠点整備の考え方について方針を示してほしい		【7】各務ヶ原駅周辺地区 (省略) 社会情勢の変化に伴い、地域の実情に合った土地利用を検討
3	鵜沼駅周辺の高さ制限が厳しく、マンション等の建設が難しい状況。制限の見直しが必要では		【8】鉄道駅近接エリア 地区計画制度の活用などにより、良好な住環境の形成を図る
4	城山を犬山市との観光交流の場となるように有効活用をしてほしい		【1】新鵜沼駅前地区 (省略) 都市機能の集積を高め、適正な土地の有効・高度利用を促進し商業系土地利用への誘導を検討
5	南北間の幹線道路整備に力を入れ、渋滞の改善策を講じてほしい	道路	【4】城山地区 (省略) 歴史的な文化資源として保全するとともに、市の東の玄関口のランドマークとしての活用を検討
6	郊外の住宅団地に不便さを感じる高齢化も進行している	公共交通	(都)各務原扶桑線、(都)犬山東町線バイパスの未整備区間の整備を図る ・各務原市地域公共交通計画に基づき、駅周辺と住宅地・公共施設を結ぶバス路線を維持し、必要に応じた運行内容(経路・ダイヤ)の見直しを実施 ・郊外の住宅団地等に立地する丘陵地からのアクセスや高齢者の移動手段を確保するための対策を検討

●概要

川島地区においては、水と緑に恵まれた比較的低密度な市街地が形成されているほか、県内最大級の観光客数を誇る河川環境楽園を有する地区である。

地区別懇談会では、河川環境楽園等の施設の有効活用、地域の活性化、生活利便性、交通渋滞の緩和、木曽川の堤防整備に関するご意見を主にいただいた。

地区区分



キーワード

拡幅 住宅地の増加 緩和 スマートインターチェンジ
 未利用地少ない 河川環境楽園有効活用 混雑解消
 空き家の増加 店舗が近隣にない 地域の活性化
 一部市街化調整区域 交通が不便 安全対策 自動車 堤防整備
 治水対策の強化 市内への移動不便

●意見の反映

市民の意見		分野	方針
1	河川環境楽園等の施設を有効活用し、地域の活性化・地域間の交流を促進してほしい	土地利用 主要課題地区	【2】国営木曽三川公園各務原緑地 木曽川中流域の魅力向上を目指し、木曽川を基軸とした広域サイクリングネットワークの構築や賑わいのある拠点形成を図る
2	地域住民が日常的に利用する店舗等が少ない	土地利用	(商業) 地区住民の生活利便性の向上に資する沿道活用地域としての土地利用を促進
3	渋滞緩和や安全対策の面でも、交通網整備を進めてほしい	道路	稲羽地区との連絡を強化できるよう(主)川島三輪線の延伸を検討(中長期)
		安全安心	狭あい道路の解消やそれに合わせたブロック塀の除去の支援等に努める
4	愛知県へのアクセスは便利だが、市役所へのアクセスが不便	公共交通	(省略) 必要に応じて運行内容(経路・ダイヤ)の見直しを行い、利便性の向上を図る
5	木曽川の堤防の整備については、生活に関わる重要事項であるため、都市計画マスタープランにしっかりと位置付けてほしい	河川	(省略) 国及び関係機関と連携し、木曽川の堤防整備を促進